

自然共生サイトみんなの取組

御前崎港 久々生海岸

【申請者】 特定非営利活動法人Earth Communication

生物多様性を維持する活動

TOP	計画概要	サイト概要	目標	活動内容	モニタリング計画	生物多様性の価値	実施体制
-----	------	-------	----	------	----------	----------	------

様式1-2 別紙2 御前崎港 久々生海岸里海プロジェクト 計画の概要 申請者：特定非営利活動法人Earth Communication【維持タイプ】

【実施区域・面積】

静岡県、 9.4ha

【生態系タイプ】

藻場、岩礁

【実施区域の状況】

御前崎港内に位置する久々生海岸と隣接する海岸は、港の造成等の影響により半自然的に浅場が形成され、御前崎市や近隣市町では自生・群生が確認されていなかったコアマモ（静岡県レッドリスト：準絶滅危惧）やアマモをはじめとする海草類、ホンダワラをはじめとする海藻類からなる藻場が広がっている。この藻場は、海に棲む生きもののたちの棲み処や稚魚・幼魚たちの生育場、産卵場になっており、底生生物や魚類など多種多様な生きものが生息している。このような貴重な海岸環境を活かし、アマモ場の生きもの観察会など体験型環境学習の場として活用させていただいている。その一方で、海洋ゴミの溜まり場にもなっているため、定期的な海岸清掃など海岸の保全活動に取り組んでいる。

【目標】

当サイトで取り組む体験型環境学習や保全活動を通して、『久々生海岸』とその現状を多くの方に知っていただき、海をはじめとする自然や環境に対する意識を育むことで、多様性豊かな当海岸の希少な環境をより良い形で保全し、継続的に保全されていくこと目指し、活動に取り組む。

【主な活動内容】

【保全活動】 毎月3～4回の海岸清掃を実施。当サイトに漂着する海洋ゴミを撤去することで、アマモ場及びそこに生息する生きものの生育環境を保全する。また、保全活動の際にコアマモやアマモの生育状況を目視で確認を行う。

【体験型環境学習及びアマモ場の生きもの調査】 年間4回（5～6月、7～8月の満月の夜、9～10月、12～2月の夜に各1回）、アマモ場の生きもの調査を兼ねたアマモ場の生きもの観察会を実施。

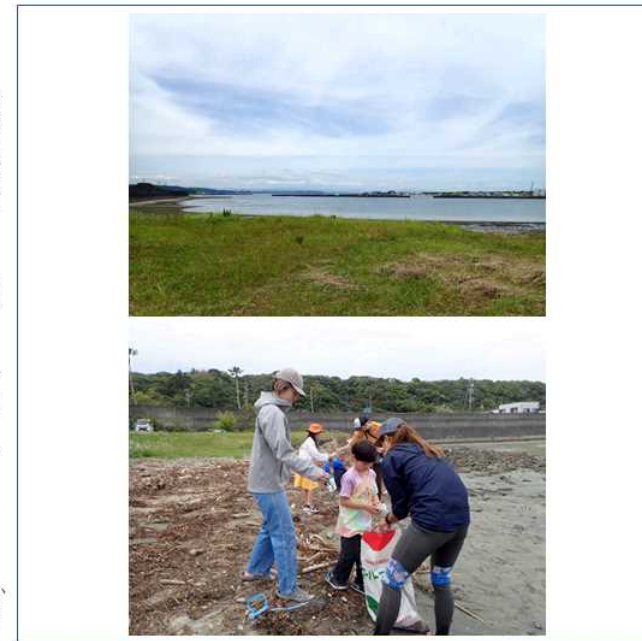
【アマモ場の面積調査】 コアマモ及びアマモの生育状況に合わせ、毎年6～7月に静岡県をはじめ、国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所の皆さん、東海大学の皆さんにご協力いただき、ドローンを活用したアマモ場の面積調査を実施。

【モニタリング計画】

コアマモとアマモ及びアマモ場、アマモ場に生息する生きもの、申請区域内に飛来する鳥類を対象とし、当サイト全域でモニタリングを実施。コアマモとアマモの生育状況及びアマモ場においては、通年、目視によるモニタリングを実施。アマモ場の面積調査においては、年に1回、毎年6～7月にかけてドローンを活用し実施。アマモ場に生息する生きもの及び飛来する鳥類においては、通年、活動中に目視によるモニタリングを行い、確認できた種を記録する。

【実施体制】

コアマモとアマモの生育状況及びアマモ場、アマモ場に生息する生きもの及び飛来する鳥類については、保全活動や体験型環境学習の参加者と共に実施。アマモ場の面積調査においては、静岡県をはじめ、国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所の皆さん、東海大学の皆さんにご協力いただき実施。



【計画期間】

令和 7 年 9 月 ～ 令和 12 年 8 月